

生ごみ・剪定枝や草の ごみ減量について

生ごみは多くの

水分を含んでいます

生ごみの水分量は70～80%と言われており、重量があります。また、腐敗すると悪臭を発生します。

生ごみの水切りをすると悪臭を防止できるほか、ごみの容量が減り、ごみ袋（市指定袋）の枚数を減らしたり、サイズを小さくすることができます。

【生ごみの減量方法】

生ごみを出さない工夫をしましょう

- 買物に行く前に冷蔵庫の中身を確認する
- 食べる量を考えて献立を決める
- 冷蔵庫の中にあるものだけで料理する日を作る
- ぬらさないようにしましょう

○基本は「最初からぬらさない」ことです。野菜などは使えない部分を切り落としてから洗いましょう

悪臭・腐敗防止のため

水切りしましょう

- ゴム手袋を使用して直接水切りする
- すぐに捨てずに、三角コーナーなどに入れて一晩おいてから捨てる
- 市販の水切りグッズなどを活用する

【生ごみの水切り器を

無料でお渡しします】

安中市環境保健自治団体連合会では、生ごみの水切り器を市在住の世帯を対象に無料でお渡ししています。希望する人は環自連事務局（☎環境政策課または☎総務管理課）までお越しください。なお、数に限りがありますので、終了の際はご了承ください。



剪定枝や草も

多くの水分を含んでいます

「剪定枝」や「草」を乾燥させると、15～60%減量するといわれています。

水分を多く含んでいると、焼却時に多くのエネルギーが必要になり、処理経費が多くなってしまう。

【剪定枝や草の減量方法】

- 剪定枝や草は、すぐごみに出さずに土を落として乾燥させる
- 天日干しできない場合でも、袋を縛らずに開けておくだけで減量が可能

【ごみステーションに出す場合】

長さ50cm以下、太さ5cm以下のものはごみ袋（市指定袋）に入れてください。困難な場合は袋に入る程度の量で



▶乾燥前の草



袋を開けて乾燥させている様子



▶乾燥後の草



市指定袋の貼り付け方

縛り、ごみ袋（市指定袋）を貼り付ければごみステーションへ出すことができます（一度に大袋5袋まで）。

長さ50cm、太さ5cmを超えるものは粗大ごみ扱いとなりますので、碓氷川クリーンセンターへ直接持ち込んでください。

※処理料金：総重量から50kgを差し引いた重量10kgにつき165円（税込）（50kgまで無料）

